

タオル 帽子 ボランティア

この小さなボランティア活動が一人でも多くの方の心にご理解いただけると幸いに思います。

小樽つむぎの会は、岩手ホスピスの会との出会いから始まった小樽のボランティア団体です。当初、木村代表が岩手へ一人で研修へ行き、作り方を学び震災地へ寄贈するなどの活動をしていました。

2018年、まちゼミおたるとで、講習会を開催したご縁で賛同者が集まり、現在はピンクリボンの会や、近隣の病院へ寄贈しております。

現在がん治療の主流である「抗がん剤」は、多くのがん患者さんの治療に大きく貢献しています。

しかし、薬の種類、投与方法で異なりますが、吐き気、虚脱感、「脱毛」の副作用が予想されます。

全ての型に症状が出るわけではありませんが、髪が抜けるということは、想像以上の不安やストレスをとめます。突然の脱毛で慌てないように事前の準備があれば精神的にもゆとりを

持って治療に前向きになれます。

フェイスタオル一枚でできるタオル帽子は通気性、吸収性に優れ、肌触りも良く、患者さんはもとより、寒い時に被ったり、入浴後に被ったり、ヘルメットの下に被り、汗を吸うなどの使い方が広がっております。

どこの家庭にでもあるタオルで作ることが出来る手軽さ、色、柄、サイズなど自分の好みでオリジナルの帽子ができていきます。

小樽つむぎの会

事務局代表 木村雪子

〒047-0003

北海道小樽市真栄1丁目6番5号

TEL. 090-2876-9177

